

令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育総合推進地域事業>

都道府県・
指定都市名

京都府

地域名

八幡市

人権課題

外国人の人権問題 等

目標・人権教育のねらい

- ・当地域では、近年外国から渡日してくる児童生徒が多く、全く日本語がわからない児童生徒が日本社会で生きていく上で、基礎学力の定着と希望進路の実現が図れるよう、一人一人の状況に応じた教育を行うことを目指す。
- ・今までの日本語指導の蓄積を活かしながら、学校・家庭・地域がさらに連携し、外国人の人権課題に対する取組が推進できるよう研究を進めていくとともに、その成果を府内外の各地域に発信する。

各組織の動き・役割等

人権教育総合推進会議→指導計画の整備

八幡市人権・同和教育研究会→公開授業・講演・研究報告書の作成・配布

八幡市人権教育総合推進会議（進路保障部・人権学習部）
→小中9年間の体系的な教育について協議

京都府教育委員会

京都府山城教育局

八幡市教育委員会

八幡市立小中学校

八幡市政策企画部

八幡市人権・交流センター

八幡市立8小学校4中学校：[人権学習部会]人権学習実践事例集（外国人の人権）の作成にあたって（人権学習の実践、事例集作成に向けて進捗状況の交流等を行った。）

八幡市立8小学校4中学校：[進路保障部会]個別の指導計画の作成について（各校の取組状況<外国人児童生徒の現状>の交流等を行った。）

八幡市立8小学校4中学校：[進路保障部会]八幡市立八幡小学校の公開授業及び取組状況について周知した。[人権学習部会]八幡市立有都小学校第2学年、八幡市立男山第三中学校第3学年で人権学習の公開授業及び事後研究会等を実施した。

校種間連携の概要

- ・小・中学校の連携のために進路保障部は教務主任、人権学習部は人権教育主任を中心とした各部会を設置した。人権課題について、個別の指導計画の作成や小中学校を見通した人権学習実践事例集の作成を行い、小・中学校9年間の体系的な教育を見通した協議も行った。また、公開授業及び事後研究会等を実施した。

地域・関係機関との連携の概要

- ・八幡市内在住の住民に対して、地域としてできる支援として、八幡市政策企画部では八幡市内（地域）で日本語の学習支援の指導者を増やすための日本語指導者ボランティア講座を開催したり、全戸配布の『広報やわた』において「やさしい日本語」の記事を掲載して啓発活動を行った。

事業成果

- ・知識的側面：各校で「外国人の人権」を扱う人権学習の時間数が増加した。（8小学校4中学校合計 事業実施前21時間→事業実施後77時間）
 - ・価値・態度的側面：人権アンケートの結果から「みんな一人一人違うことが当たり前だ。」の項目で98%の児童生徒が肯定的な回答を行った。
 - ・技能的側面：人権アンケートの結果から「困っている友達がいたら助けてあげる。」「友達をきずつけることはしたり、言ったりしない。」の項目で98%の児童生徒が肯定的な回答を行った。
- 上記のほか、人権アンケートの結果から、多様性に対する開かれた心と肯定的価値観の高揚が感じられた。／すべての外国人児童生徒に関して、小中学校や高等学校との校種間連携を図るために「個別の指導計画」及び「進路追跡票」を作成し、本事業終了後も活用するためのシステムを構築した。／「外国人の人権」に関する学習の定着を図るとともに、実践内容を「人権学習実践事例集」にまとめ、発行した。